ELECOM

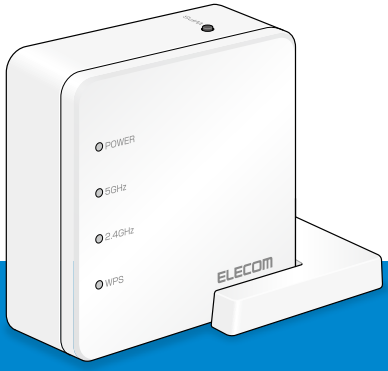
2017年11月17日　第1版

User's Manual

ユーザーズマニュアル

IEEE802.11ac/11n/11g/11b/11a対応

無線LANブロードバンドルーター



WRC-1167FSシリーズ

この度は、エレコムの無線LANルーターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。
また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

●本製品の基本的な導入手順については、付属の「かんたんセットアップガイド」などをお読みください。

もくじ

もくじ 2

導入編 6

用語 7
- このマニュアルで使われている用語 7
- このマニュアルで使われている記号 7

このマニュアルをお読みになる前に 8
- 「かんたんセットアップガイド」の主な内容 8
- 「製品情報」の主な内容 8

本製品の概要 9

設定画面ついて 11

接続編 13

インターネットに接続する(ルーターモード) 14
- Step1 接続の準備をする 14
- Step2 本製品(ルーター)の電源を入れる 17
- Step3 モバイル機器やPCと本機を接続する 18
- Step4 「かんたんセットアップ3」で設定する 19

本製品に無線LANで接続する 22
- WPSプッシュボタン方式で接続する 23
- WPS PIN方式で接続する 25
- 手動設定で接続する 28

その他のモードで接続する 29
- 動作モードを設定する 29
- アクセスポイントモードに設定する 30

おもな使い方 32

「友だちWi-Fi」を設定する 33

WPS機能を使用する 36
本製品上面のボタンを押す 36
設定画面からWPS機能を使用する 37
アクセスコントロールを設定する 39
SSIDを第三者から見えなくする 41
動作モードを切り替える 43
ログインID／パスワードを変更する 44
初期化する 46

設定リファレンス 49

管理画面（設定ユーティリティ）を表示する 50
各メニューについて 51
友だちWi-Fi 54
Wi-Fi 56
ルーターモード・アクセスポイントモード 56
メインSSID 57
マルチSSID 60
WPS 63
WAN＆LAN（ルーターモード時） 64
WAN 65
LAN 71
DDNS 72
固定DHCP設定 74
QoS 76
LAN（アクセスポイントモード時） 78
セキュリティー 79
アクセスコントロール 80
ポートフォワーディング 82
DMZ 84
その他設定 85
ステータス 86

ログインID／パスワード 87
ファームウェア更新 88
設定保存と復元 89
システムログ 90
通信パケット 91
接続確認 92

こんなときは 93

インターネットにつながらない 94
無線LANがつながらない 95
端末からWPSで本製品に接続できない 96
WPSボタンを使っても接続できない 96
PINコードで接続できない 96
無線のつながりがよくない 97
IPv6パススルー（ブリッジ）機能を有効にする 101
ファームウェアを更新する 104
ファームウェア設定画面を開く 105
ダウンロードしたファイル（ローカルファイル）を指定して更新する 107
サーバー上のファイルを使って更新する 110
決められた時間に自動的に更新する 112

付録編 114

安全上のご注意 115
使用上のご注意 118
このマニュアルについて 119
無線LANをご使用になるにあたってのご注意 120
動作環境 121
各部の名称とはたらき 122

本体 122
スタンド 122
設定初期値 125
パソコンのIPアドレスの確認方法 127
Windows 10の場合 128
Windows 7の場合 129
製品の保証について 131
製品の保証とサービス 131
サポートサービスについて 132
基本仕様 133
無線LAN部 133
WAN ／有線LAN 134
ルーター、その他一般仕様 134

導入編

もくじ **2**

用語 **7**

このマニュアルで使われている用語 7

このマニュアルで使われている記号 7

このマニュアルをお読みになる前に **8**

「かんたんセットアップガイド」の主な内容 8

「製品情報」の主な内容 8

本製品の概要 **9**

設定画面ついて **11**

用語

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線LANブロードバンドルーター「WRC-1167FSシリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
11ac/11n/11g/11b/11a	IEEE802.11ac 規格を「11ac」、IEEE802.11n (2.4G/5G) 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」、IEEE802.11a 規格を「11a」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n (2.4GHz 帯) /11g/11b の略です。
11an/ac	11a/11n (5GHz 帯) /11ac の略です。
無線 LAN ルーター	無線 LAN ブロードバンドルーターを略して「無線 LAN ルーター」と表記しています。
無線親機	無線 LAN ルーター、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線 LAN 子機	無線 LAN 機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線 LAN 子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線 LAN 子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線 LAN 機能または有線 LAN アダプターを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「かんたんセットアップガイド」「製品情報」の2つのマニュアルが付属しています。
各マニュアルには、以下の内容が記載されています。該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。
※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「かんたんセットアップガイド」の主な内容

- 本製品をインターネット機器(終端装置)に接続する手順
- Windows/Mac パソコン、スマートフォン/タブレット(Android または iOS)から、本製品およびインターネットへ接続する方法

「製品情報」の主な内容

- 本製品の各部の名称とはたらき
- 本製品の基本情報
- 工場出荷時における設定値および基本仕様
- 注意事項
- 保証規定
- サポートサービスのご案内

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

エレコム・ホームページより、最新の PDF 版をダウンロードすることができます。

本製品の概要

● 設定ツール「かんたんセットアップ 3」でスマートフォン/Windows/Macからのインターネット接続

PPPoE接続、DHCP接続、固定IP接続という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

● ボタンひとつで接続完了、WPS機能

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。

● 簡単にお客様用の接続アカウントを発行できる「友だちWi-Fi」機能搭載

設定画面から簡単な操作でお客様用のSSIDと暗号化キーを発行することができます。
(→33ページ)

● Webブラウザーベースの管理画面（設定ユーティリティ）を搭載

本製品の設定は、スマートフォンやパソコンのWebブラウザー上から、本体に内蔵されたWebベースの管理画面（設定ユーティリティ）を起動して行います。Webブラウザーからの解りやすいメニューで操作できます。

● IPv6パススルー（ブリッジ）機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6 サービスを利用できるように、「IPv6パススルー（ブリッジ）」機能を搭載しています。(初期値：無効)
(→101ページ)

● 各種無線セキュリティー機能に対応

より高度な暗号化であるWPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。

● 特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できます。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。

(→76ページ)

● バーチャルサーバー機能を搭載

ポート転送（ポートフォワーディング機能）を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバー」としてインターネット経由で安全に公開できます。

(→82ページ)

設定画面ついて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザーから利用できる管理画面(設定ユーティリティ)があります。

表示方法

本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のWebページを表示します。

http://192.168.2.1/

●各ボタンの詳しい内容や設定方法については、「設定リファレンス」をお読みください。→ 49ページ

●AP(アクセスポイント)モード時の本製品のIPアドレスは、「192.168.2.1」です。
モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.2.xxx」(xxxは任意の数字)に固定してアクセスしてください。
また、本製品とパソコンのみを接続してください。
パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照してください。
http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

●表示されるメニューは設定しているモードによって異なります。

ルーターモード

アクセスポイントモード

●画面サイズによって表示が最適化されますので、お使いの端末によって画面の見え方が異なりますが、内容は同じです。

●ファームウェアの更新や機能の追加により、表示される画面が異なる場合があります。

接続編

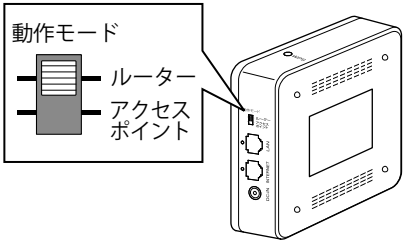
インターネットに接続する(ルーターモード) 14
Step1 接続の準備をする 14
Step2 本製品(ルーター)の電源を入れる 17
Step3 モバイル機器やPCと本機を接続する 18
Step4「かんたんセットアップ3」で設定する 19
本製品に無線LANで接続する 22
WPSプッシュボタン方式で接続する 23
WPS PIN方式で接続する 25
手動設定で接続する 28
その他のモードで接続する 29
動作モードを設定する 29
アクセスポイントモードに設定する 30

インターネットに接続する（ルーターモード）

Step 1 接続の準備をする

1 本体背面の動作モード切り替えスイッチが「ルーター」の位置になっていることを確認します。

- 工場出荷時は「ルーター」の位置になっています。
- モードを切り替えるときは、ACアダプターのプラグを本体から抜いてください。



その他のモードでご使用になる場合は、以下のページを参照してください。

アクセスポイントモード	有線ルーターが別にすでに設置されている状態で、本機で無線 LAN 接続をしたい場合。 (→ 30 ページ)

2 以下の点を確認します。

お客様の環境によってチェックする項目は異なります。

☑ **【事前にご確認ください】プロバイダーからの書類を用意します。**

ご利用のインターネットサービスによっては、ユーザー IDとパスワードを設定する必要があります。あらかじめ、プロバイダーから提供された書類※に、これらの記述がないかご確認のうえ、ご用意ください。

※ プロバイダー書類（例）

プロバイダーにより、認証ID/ユーザー名、認証パスワードなど、名称が異なります

会員証のご案内

ご契約プラン：XXXXXXXXXXXXXXXX

お客様番号：XXXXXXXXXXXXXXXX

接続 ID：XXX@XXX.XXX.ne.jp
接続パスワード：XXXXXXXXX

メールアドレス：XXX@XXX.XXX.ne.jp
メールパスワード：XXXXXXXX

詳しくは

インターネットで以下の文書番号を検索してください。

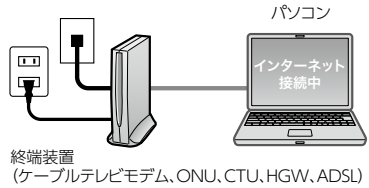
文書番号 7451　検索

インターネット環境がない場合

☑ **インターネットサービスの契約が完了し、サービスが開始されていることを確認します。**

インターネット環境があり、ルーター未設置の場合

☑ **終端装置などがあり、ルーターを使わずにインターネットに接続している場合は、現在の環境でパソコンからインターネットに接続できているか確認します。**



インターネット環境があり、別なルーターを設置している場合（「お乗り換え」の場合）

☑ **ご使用中のルーターの設定プログラム（アプリケーション）は、すべて削除します。**

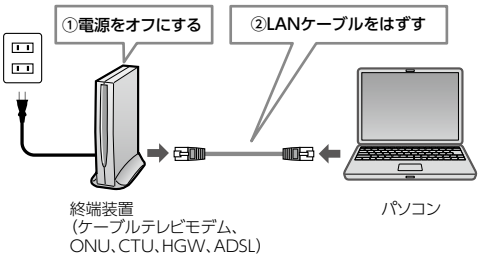
ルーターをご使用でない場合でも、すでにインターネットをご利用の場合、パソコンに「接続ツール」等のプログラムがインストールされている場合があります。これらはすべて削除してください。
※ご不明な点がある場合は、お手持ちのルーターのメーカーにお問い合わせください。

☑ **既存のルーターを終端装置やコンセントから取り外します。**

3 ご利用中の回線をいったんオフにします。

① 終端装置（ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、HGW、ADSL）の電源を切ります。

② パソコンと終端装置を接続したLANケーブルを外します。



**ケーブルテレビモデムの場合、
そのまま10分以上おいてください。**

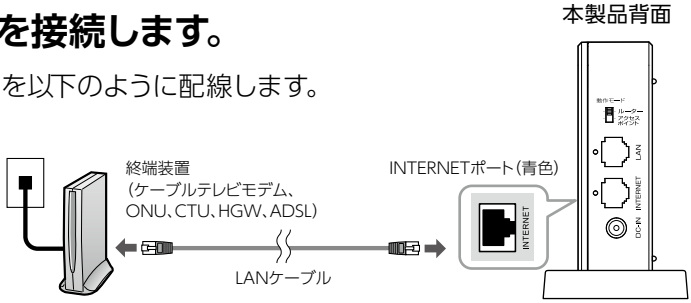
※ご契約の回線によっては、1時間以上おいておく必要があります。

Step 2 本製品（ルーター）の電源を入れる

本製品の設置方法については、別紙「セットアップガイド」をご参照ください。

1 機器を接続します。

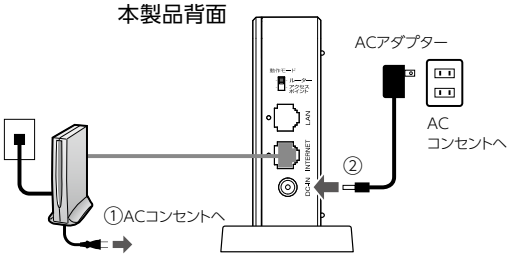
各機器を以下のように配線します。



2 終端装置と本製品の電源を入れます。

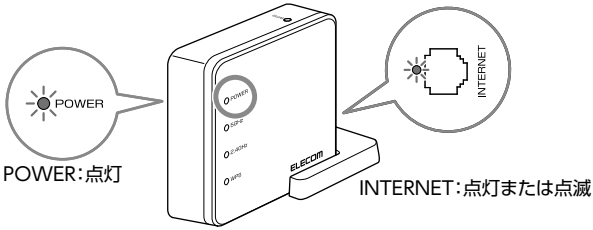
① **終端装置の電源ケーブルを接続します。**
電源スイッチがある場合は、スイッチをオンにします。

② **本製品付属のACアダプターを接続します。**



3 ランプの点灯状態を確認します。

モデム等のランプおよび本製品のランプが正しく点灯していることを確認します。

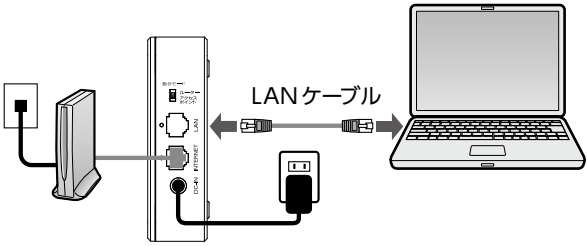


Step3 モバイル機器やPCと本機を接続する

LANケーブルで有線接続する場合

本製品のLANポートと機器をLANケーブルで接続します。

本製品背面



無線接続する場合

Wi-Fi設定画面を開き、本機のSSIDを選択して接続するか、端末が対応している場合は、WPS機能で接続します。
WPS機能を使用しない場合は、接続に暗号化キーが必要になります。
本製品付属の「かんたんセットアップシート（初期値）をご確認ください。

- 接続方法は22ページを参照してください。
- 端末別の接続方法は、別紙「かんたんセットアップガイド」を参照してください。

かんたんセットアップシート（初期値）

例

	SSID（無線名）	暗号化キー（全SSID共通）
2.4GHz	elecom2g-xxxxxx	1a2B3c4D5e6F
5GHz	elecom5g-xxxxxx	暗号化方式（全SSID共通）：WPA2-AES

〈ルーター管理画面アクセス情報〉

IPアドレス	192.168.2.1	ログインID	admin
パスワード（任意設定）	設定後に記入してください。		

〈ルーターWAN側情報〉

MACアドレス	12:34:56:AB:CD:EF

Step4「かんたんセットアップ3」で設定する

モバイル端末やPCの場合は、Step3で無線接続が完了すると、自動的にWebブラウザが起動して「かんたんセットアップ3」の画面が表示されます。
自動で「かんたんセットアップ3」画面が表示されない場合は、以下のURL をWeb ブラウザーのアドレス欄に入力するか、QR コードをご利用ください。

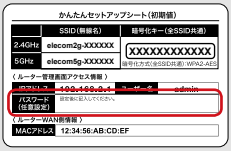
http://192.168.2.1/wizard.html

※ 上記の作業を行っても設定画面が表示されない場合は、STEP 3をもう一度行ってください。それでもうまくいかない場合は、本製品を初期化して、STEP 3 を行ってください。初期化の方法は46ページ「初期化する」をご確認ください。

1 ［管理アカウント設定］画面が表示されるので、ログインIDとパスワードを入力し、［適用］を選択します。

本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にログインするためのパスワードになります。
初期設定されていませんので、ご自身でパスワードを決めて入力してください。

設定したパスワードは忘れないように「かんたんセットアップシート（初期値）」にメモして大切に保管してください。


かんたんセットアップシート（初期値）

	SSID（無線名）	暗号化キー（全SSID共通）
2.4GHz	elecom2g-XXXXXX	XXXXXXXXXXXX
5GHz	elecom5g-XXXXXX	暗号化方式(全SSID共通) WPA2-AES

（ルーター管理画面アクセス情報）

ログインURL	192.168.2.1	admin
パスワード（任意設定）	設定後に記入してください。	

（ルーターWAN側情報）

MACアドレス	12:34:56:AB:CD:EF

2 ［回線識別］画面が表示されるので、［自動設定］を選択します。

自動設定できないときは、操作**2-A**または操作**2-B**の画面が表示される場合があります。表示された画面に従って操作を続けてください。

2-A「プロバイダー情報の設定（PPPoE）」と表示される場合

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］を選択します。

ここでの「ユーザー名」と「パスワード」は、ご契約のプロバイダー様から提供されているインターネット接続用の認証ID・認証パスワードを入力します。
プロバイダー様により名称が異なる場合があります。

2-B「プロバイダー情報の設定（固定IP）」と表示される場合

画面の各項目を入力し、[次へ] を選択します。

ご契約のプロバイダー様から固定IPアドレスの指定があった場合のみ、プロバイダー様からの情報を各項目に入力してください。

「基本セットアップ完了」と表示されたら、インターネットへの接続は完了です。

引き続き2台目以降を無線で接続したい場合

22ページ「本製品に無線LANで接続する」の手順で接続します。
ゲーム機や最新OSなど接続手順の記載がない端末の設定方法は、下記で検索してください。

インターネットで以下の文書番号を検索してください。

文書番号 6447　**検索**

本製品に無線LANで接続する

無線LAN子機から本製品に接続する方法は、おもに以下の3通りあります。

● モバイル機器やパソコンの接続方法の詳細は、付属の別紙「かんたんセットアップガイド」をご参照ください。

WPSプッシュボタン方式

無線LAN子機がWPSプッシュボタン方式に対応している場合は、一番簡単な方法です。
(→23ページ)

WPS PINコード方式

無線LAN子機がWPS PINコード方式に対応している場合は、この方法で接続します。
設定画面を開く必要があるため、最初の1台を接続するときは「WPSプッシュボタン方式」または「手動設定」で接続してください。
(→25ページ)

手動接続

無線LAN子機がWPS機能に対応していない場合は、この方法で接続します。
(→28ページ)

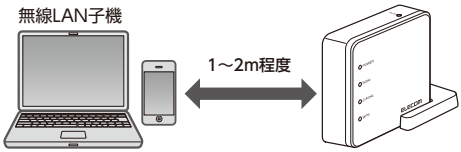
MEMO

WPSボタンについて

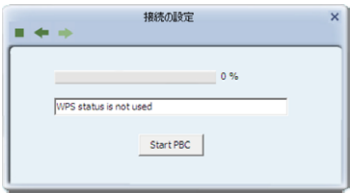
WPSの「プッシュボタン方式」は、無線LAN子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、管理画面（設定ユーティリティ）上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPSプッシュボタン方式で接続する

1 **無線LAN子機を、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**

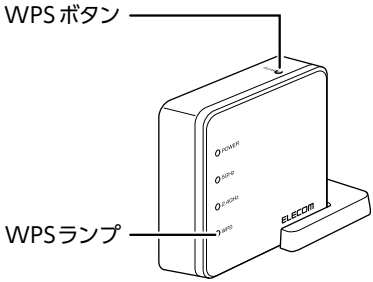


2 **無線LAN子機の説明書をお読みになり、無線LAN子機側が「WPS」を実行できるように準備します。**



※弊社無線LANアダプターの管理画面の画面例

3 **本製品の上面にあるWPSボタンを2～3秒間長押しします。**



- WPSランプが赤点滅し、WPS対応の無線LAN子機の接続を待つ状態になります。
- 接続は、WPSランプの点滅中に完了する必要があります。

MEMO

- WPSランプが赤色に点滅しない場合は、再度押してください。
- 接続が完了するか、一定時間（約2分間）が過ぎるとWPSランプは消灯します。

4 無線LAN子機側のWPSボタンを指定された時間だけ押します。

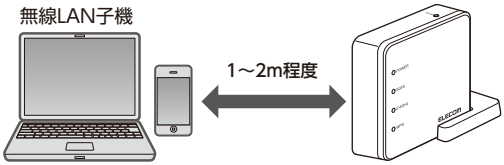
- 本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの［WPS］ボタンをクリック（タップ）します。
- ユーティリティによっては、［PBC］など、表記が異なることがありますので、無線LAN子機の説明書をお読みください。

5 設定後、無線LAN子機がインターネットに接続できることを確認してください。

WPS PIN方式で接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。
無線親機側のPINコードを使用する場合については、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

1 無線LAN子機を、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



2 無線LAN子機の説明書をお読みになり、無線LAN子機のPINコードをメモします。

3 本製品に接続しているパソコンなどでWebブラウザーを起動し、以下のページを開きます。

http://192.168.2.1/

4 認証画面が表示されますので、
以下のようにログインIDとパスワードを入力し、[OK]を選択します。

ログイン ID	admin
パスワード	「かんたんセットアップ 3」で設定したパスワード

5 設定画面のHOME画面が表示されますので、「Wi-Fi」を選択します。

ログイン認証の画面が表示されたら「かんたんセットアップ 3」で設定した「ログインID」と「パスワード」を入力してください。

6 「Wi-Fi」画面が表示されますので、「WPS」を選択します。

7 「WPS」画面が表示されますので、
「無線端末のPINコード入力」に無線LAN子機のPINコードを入力し、「実行」を選択します。

8 **設定後、無線LAN子機がインターネットに接続できることを確認してください。**

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線LAN子機の場合は、無線LAN子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動で行います。

1 無線LAN子機を、本製品と確実に通信できる場所に用意します。

2 無線LAN子機の管理画面(設定ユーティリティ)を起動します。

OS標準の無線LAN機能の場合も、SSIDの一覧を表示させます。

3 管理画面(設定ユーティリティ)のリスト上に表示されたSSIDの中から、本製品のSSIDを選択して、暗号化キーを入力します。

本製品のSSIDとパスワードは、本製品裏面のラベル、または別紙「かんたんセットアップシート」に記載されています。

例

	SSID(無線名)	暗号化キー(全SSID共通)
2.4GHz	elecom2g-xxxxxx	1a2B3c4D5e6F
5GHz	elecom5g-xxxxxx	暗号化方式(全SSID共通):WPA2-AES

〈ルーター管理画面アクセス情報〉

IPアドレス	192.168.2.1	ログインID	admin
パスワード(任意設定)	設定後に記入してください。		

〈ルーターWAN側情報〉

MACアドレス	12:34:56:AB:CD:EF

詳しくは

インターネットで以下の文書番号を検索してください。

文書番号 6447　検索

4 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認します。

その他のモードで接続する

動作モードを設定する

本製品はルーターモードの他、使用用途に応じて以下の動作モードに設定することができます。

アクセスポイントモード	有線ルーターが別にすでに設置されている状態で、本機で無線 LAN 接続をしたい場合。 (→ 30 ページ)

重要

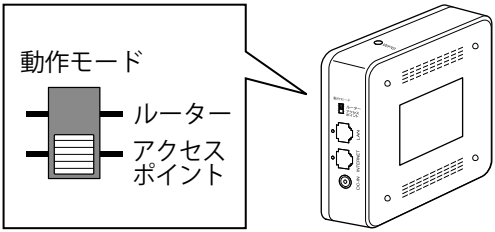
動作モードを変更するときは、必ずACプラグを本体から抜いて電源を切った状態で行ってください。

アクセスポイントモードに設定する

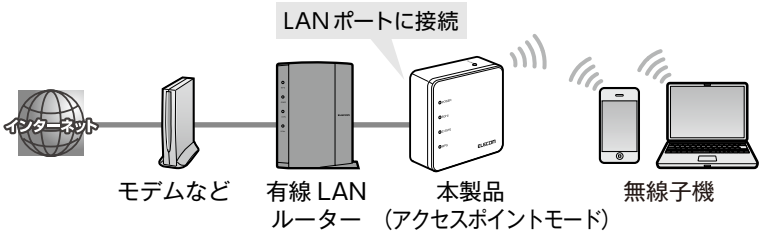
ネットワーク内に有線ルーターが別に動作している場合などに、本製品を使って無線LAN接続をすることができます。

1 ACアダプターのプラグを本体から抜いて電源を切ります。

2 本製品背面の動作モード切り替えスイッチを「アクセスポイント」に合わせます。



3 本製品のLANポートと有線LANルーターをLANケーブルで接続します。



4 ACアダプターのプラグを本体に差し直します。

LEDランプが以下の状態になるまで、1～2分待ちます。

2.4GHz/5GHz ランプ	緑点灯
POWER ランプ	緑点灯

5 無線子機から本製品に無線接続し、ネットワークに接続できることを確認します。

本製品のSSIDとパスワードは、本製品裏面のラベル、または別紙「かんたんセットアップシート」に記載されています。

おもな使い方

「友だちWi-Fi」を設定する 33

WPS機能を使用する 36

本製品上面のボタンを押す 36

設定画面からWPS機能を使用する 37

アクセスコントロールを設定する 39

SSIDを第三者から見えなくする 41

動作モードを切り替える 43

ログインID／パスワードを変更する 44

初期化する 46

「友だちWi-Fi」を設定する

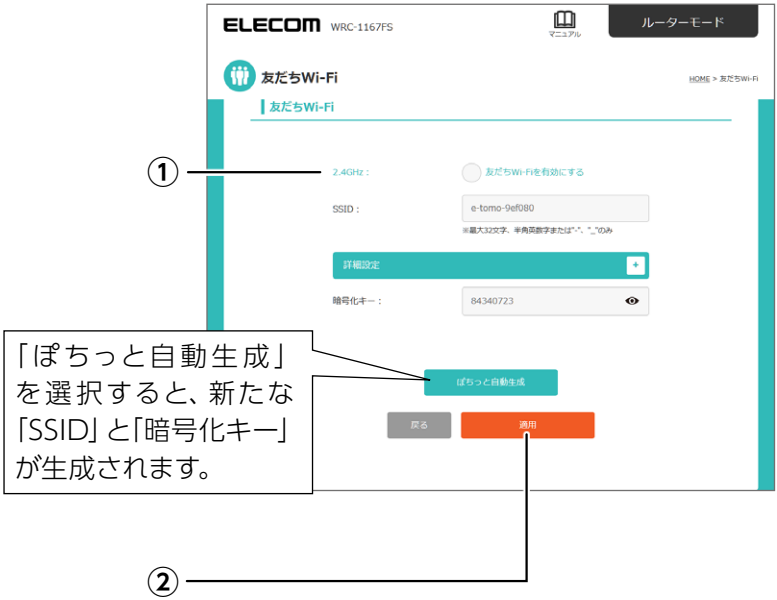
対象モード： ルーターモード

来客用のWi-Fiアカウントを作成します。
メインのネットワークとは分けて設定することができるので、安全にインターネットに接続することができます。

1 HOME画面から「友だちWi-Fi」を選択します。

「友だちWi-Fi」設定画面が表示されます。

2 以下の項目を設定します。



① **「友だちWi-Fiを有効にする」にチェックを入れます。**
「SSID」と「暗号化キー」は自動的に設定されますが、変更したい場合は、入力し直してください。

② **「適用」を選択します。**

③ **設定が反映されるまでしばらく待ちます。**

> ***MEMO***
> ●「友だちWi-Fi」は2.4GHz帯でのみ接続できます。
> ●「友だちWi-Fi」設定画面の詳細については、54ページを参照してください。

3 接続したい機器のWi-Fi設定画面を開き、2 で設定したSSIDと暗号化キーで接続します。

設定したSSIDと暗号化キーはHOME画面に表示されます。

「友だちWi-Fi」機能のオン／オフを切り替えることができます。

「友だちWi-Fi」機能の接続情報が表示されます。

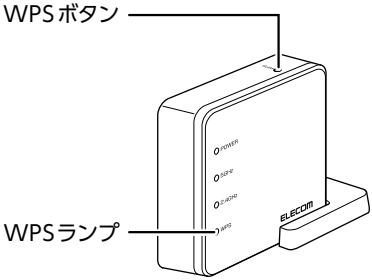
WPS機能を使用する

WPSボタンを使用すると、暗号化キーを入力することなく、簡単に本製品と端末を接続することができます。
使用するときは、端末側がWPSボタンに対応していることをご確認ください。
本製品上面のボタンを押す方法と、設定画面から実行する方法の2種類あります。
PINコードを入力して接続するときは、設定画面から実行してください。

本製品上面のボタンを押す

1 本製品上面にあるWPSボタンを2～3秒間長押しします。

WPSランプが赤点滅します。



2 WPSボタンを押してから2分以内に、接続する端末側でもWPSボタンを押し、WPSの動作状態にします。

親機側と本製品の接続が完了すると、LEDの状態が以下の状態になります。

WPSランプ	消灯
2.4GHz/5GHzランプ	親機と接続できている帯域のどちらかのLEDランプが点滅
POWERランプ	緑点灯

設定画面からWPS機能を使用する

1 HOME画面から「Wi-Fi」を選択します。

2 「Wi-Fi」画面が表示されるので、「WPS」を選択します。

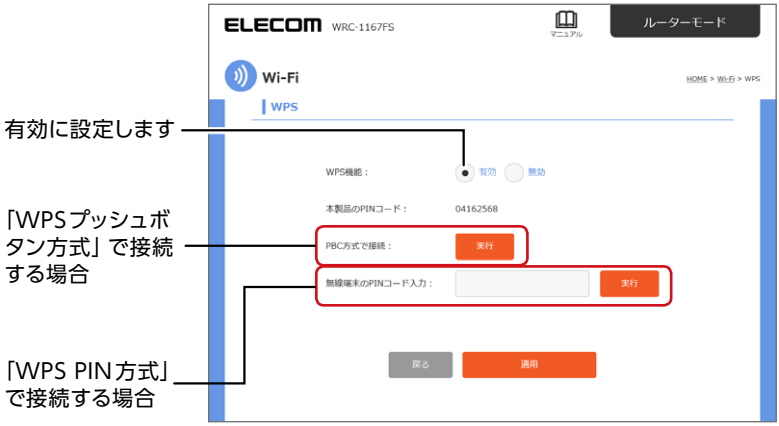
3 「WPS」画面が表示されるので、
「WPS機能」の「有効」にチェックを入れ、以下のいずれかの方法でWPS機能をオンにします。

「WPSプッシュボタン方式」で接続する場合

「PBC方式で接続」の「実行」を選択します。

「WPS PIN方式」で接続する場合

「無線端末のPINコード入力」欄に本機に接続する端末のPINコードを入力し、「実行」を選択します。



アクセスコントロールを設定する

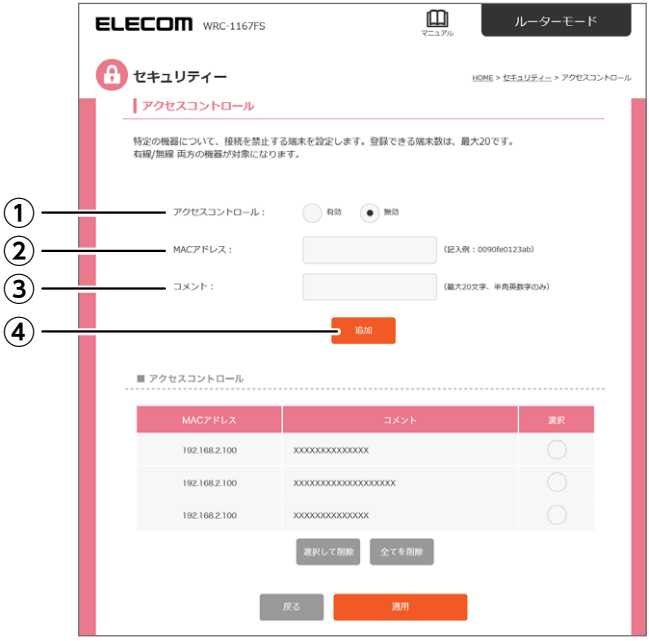
対象モード： ルーターモード

特定の機器からのアクセスを禁止します。
最大20件まで設定できます。
この設定は、ルーターモード時のみ設定できます。

1 HOME画面から「セキュリティー」を選択します。

2 「セキュリティー」画面が表示されるので、「アクセスコントロール」を選択します。

3 「アクセスコントロール」画面が表示されるので、以下の項目を設定します。



① 「アクセスコントロール」を「有効」に設定します。

② 禁止したい機器の「MACアドレス」を指定します。

③ 任意で「コメント」を入力します。

④ 「追加」を選択します。
アクセス禁止に設定した機器の一覧が下部に表示されます。

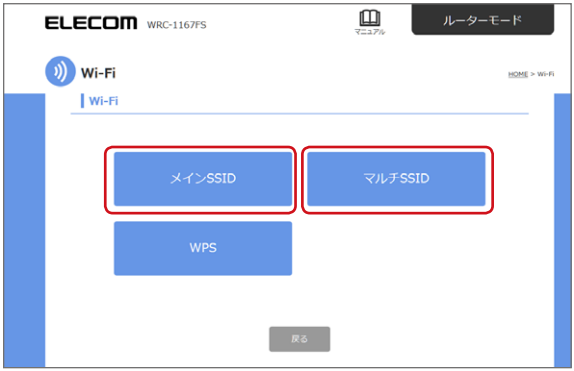
SSIDを第三者から見えなくする

対象モード： ルーターモード　アクセスポイントモード

本機のSSIDを無線LAN子機側から見えなくします。
第三者からの不正アクセス防止に役立ちます。

1 HOME画面から「Wi-Fi」を選択します。

2 「Wi-Fi」画面が表示されるので、「メインSSID」または「マルチSSID」を選択します。



項目	内容
メイン SSID	メインで使用する SSID を設定します。
マルチ SSID	メイン SSID 以外の SSID を設定します。

3 「SSID」設定画面が表示されますので、「ステルス機能」の「有効」にチェックを入れ、「適用」を選択します。

メインSSIDの場合

「メインSSID」の場合、「詳細設定」の＋を選択して、展開してから「有効」にチェックを入れます。

マルチSSIDの場合

動作モードを切り替える

本製品は使用用途に応じて以下の動作モードに設定することができます。
切り替え方法については、各ページを参照してください。

ルーターモード（初期値）	本製品をモデムや終端装置と接続して、インターネットに接続します。ご契約のプロバイダーから特に指定がある場合を除き、本モードでご利用ください。
アクセスポイントモード	有線ルーターが別にすでに設置されている状態で、本機で無線 LAN 接続をしたい場合に設定します。 (→ 30 ページ)

重要

動作モードを変更するときは、必ずACプラグを本体から抜いて電源を切った状態で行ってください。

ログインID／パスワードを変更する

対象モード： ルーターモード　アクセスポイントモード

本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にアクセスするためのログインIDとパスワードを変更することができます。

1 HOME画面から「その他設定」を選択します。

2 「その他設定」画面が表示されますので、「ログインID/パスワード」を選択します。

3 「ログインID/パスワード」設定画面が表示されますので、**新ログインIDと新パスワードを入力し、「適用」を選択します。**

項目	内容
パスワード強度	入力したパスワードの堅ろう性を表示しています。 なるべく「強」になるように英字と数字を組み合わせた7文字以上のパスワードにすることをおすすめします。

4 **「設定の反映」画面が表示されますので、しばらく待ちます。**

5 認証画面が表示されたら、**新しく設定したログインIDとパスワードを入力して再ログインします。**

初期化する

対象モード： ルーターモード　アクセスポイントモード

設定を初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

重要

初期化した場合は、お客様にて設定された内容は消去されます。初期化後は再設定を行ってください。
また、事前に本製品の管理画面（設定ユーティリティ）「その他設定」－「設定保存と復元」から現在の設定内容を保存できます。
初期化後は同じ画面から設定を復元することができます。(→ 89ページ)

1 HOME画面から「その他設定」を選択します。

2 「その他設定」画面が表示されますので、「設定保存と復元」を選択します。

3 「設定保存と復元」画面が表示されますので、

「初期化」を選択します。

確認ダイアログボックスが表示されたら、「OK」を選択してください。

4 「設定の反映」画面が表示されますので、しばらく待ちます。

設定が反映されるまでに少し時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。

「このページを表示できません」※などの画面が表示されたら、初期化完了です。

※ お使いのブラウザにより表示は異なります。

5 「かんたんセットアップ 3」画面にアクセスし、再度設定を行います。

設定方法は19ページ「Step4「かんたんセットアップ 3」で設定する」を参照してください。

設定リファレンス

管理画面（設定ユーティリティ）を表示する **50**
各メニューについて 51
友だちWi-Fi **54**
Wi-Fi **56**
ルーターモード・アクセスポイントモード 56
メインSSID 57
マルチSSID 60
WPS 63
WAN＆LAN（ルーターモード時） **64**
WAN 65
LAN 71
DDNS 72
固定DHCP設定 74
QoS 76
LAN（アクセスポイントモード時） **78**
セキュリティー **79**
アクセスコントロール 80
ポートフォワーディング 82
DMZ 84
その他設定 **85**
ステータス 86
ログインID／パスワード 87
ファームウェア更新 88
設定保存と復元 89
システムログ 90
通信パケット 91
接続確認 92

管理画面(設定ユーティリティ)を表示する

本製品の各種設定をするために、Webブラウザーから利用できる管理画面(設定ユーティリティ)があります。
各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザーを開き、以下のページを開きます。

http://192.168.2.1/

認証画面が表示された場合は、以下のようにログインIDとパスワードを入力し、[OK]を選択します。

ログイン ID	admin
パスワード	「かんたんセットアップ 3」で設定したパスワード

●AP(アクセスポイント)モード時の本製品のIPアドレスは、「192.168.2.1」です。
モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.2.xxx」(xxxは任意の数字)に固定してアクセスしてください。
また、本製品とパソコンのみを接続してください。
パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照してください。
http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

HOME画面が表示されます。

各メニューについて

表示されるメニューは設定しているモードによって異なります。

メニュー項目	内容	モードごとの表示の違い	
		ルーター	アクセスポイント
友だちWi-Fi 安全な環境でお客様にWi-Fiを提供できます	来客用の Wi-Fi アカウントを作成します。 → 54 ページ	●	—
Wi-Fi Wi-Fi（無線LAN）に関する各種設定ができます	Wi-Fi（無線 LAN）に関する各種設定ができます。 → 56 ページ	●	●
WAN & LAN 回線設定や有線LANの各種設定ができます	インターネット（WAN）回線や LAN 全般の設定ができます。 → 64 ページ（WAN & LAN） → 78 ページ（LAN）	●	● （LAN のみ）
セキュリティー	アクセスコントロールなどセキュリティーに関する設定ができます。 → 79 ページ	●	—
その他設定	ステータスを確認したり、ログイン ID やパスワードの変更、ファームウェアの更新などをおこないます。 → 85 ページ	●	●
かんたんセットアップ3	インターネットに接続するためのセットアップをします。 →付属「かんたんセットアップガイド」をご参照ください。	●	—

MEMO

スマートフォンなどのホーム画面に設定画面のショートカットを作っておくと、必要なときにすばやく開くことができます。

●iPhone（Safari）の場合

①設定画面を開いた状態で、画面下部の中央のアイコンをタップします。

②「ホーム画面に追加」をタップします。

●Android（Chrome）の場合

①設定画面を開いた状態で、画面右上のメニューボタンをタップします。

②「ホーム画面に追加」をタップします。

MEMO　設定画面について

●画面サイズによって表示が最適化されますので、お使いの端末によって画面の見え方が異なりますが、内容は同じです。

●ファームウェアの更新や機能の追加により、表示される画面が異なる場合があります。

友だちWi-Fi

来客用のWi-Fiアカウントを作成します。
メインのネットワークとは分けて設定することができるので、安全にインターネットに接続することができます。

項目	内容
友だち Wi-Fi を有効にする	チェックを入れると、「友だち Wi-Fi」機能が有効になります。「友だち Wi-Fi」機能は 2.4GHz でのみ使用できます。
SSID	Wi-Fi を接続するときに機器上に表示される名前を設定します。
暗号化キー	「詳細設定」の「キーの種類」で選択した入力形式で暗号キーを入力します。
ぽちっと自動生成	友だち Wi-Fi を「有効」にした状態でこのボタンを押すと、友だち Wi-Fi の「SSID」と「暗号化キー」がランダムに変更されます。

● 詳細設定

項目	内容	
認証方式	**WPA Pre-Shared Key(推奨)(初期値)**	通常はこちらを選択します。
	WEP ※1	WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。
	なし	通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。

※1 WPSを有効にしている場合には、WEP/TKIPを使用できません。
使用したい場合はWPSを無効にしてください。

認証方式に「WPA Pre-Shared Key」を選択した場合

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>暗号化</td><td>ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。
<table>
<tr><td>WPA2 AES（推奨）</td><td>WPA2-PSKのうち暗号化形式に「AES」を使用します。</td></tr>
<tr><td>WPA TKIP※1</td><td>WPA-PSKのうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。</td></tr>
<tr><td>WPA Mixed</td><td>無線子機にWPA-PSK(「AES」または「TKIP」)とWPA2-PSKが混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。
また、無線子機がすべて「WPA2-PSK(TKIP)」の場合も、こちらを選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>キーの種類</td><td>暗号化キーの入力形式を選択します。
<table>
<tr><td>パスフレーズ（8～63文字）</td><td>半角英数字（8～63文字）が使用できます。</td></tr>
<tr><td>HEX（64）</td><td>16進数64文字(固定)を使用できます。
※ 16進数とは、半角英数字の0～9、a～fを組み合わせた文字列です。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

認証方式に「WEP※1」を選択した場合

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>キー長</td><td>キー長を選択します。
通常は128bitを選択してください。</td></tr>
<tr><td>キーフォーマット</td><td>暗号化キーの入力形式を選択します。
<table>
<tr><td>ASCII</td><td>半角英数字で指定文字数を入力します。</td></tr>
<tr><td>Hex</td><td>16進数で指定文字数を入力します。
※ 16進数とは、半角英数字の0～9、a～fを組み合わせた文字列です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>暗号化キー1</td><td>「キーフォーマット」で指定した形式で暗号キーを入力します。</td></tr>
</table>

※1 WPSを有効にしている場合には、WEP/TKIPを使用できません。
使用したい場合はWPSを無効にしてください。

Wi-Fi

Wi-Fi（無線LAN）に関する各種設定ができます。

ルーターモード・アクセスポイントモード

項目	内容	ページ数
メイン SSID	メインで使用する SSID の Wi-Fi を設定します。	57 ページ
マルチ SSID	メイン SSID とは別の SSID を設定することができます。 SSID ごとにセキュリティー方式を分けたいときなどに使用します。	60 ページ
WPS ※1	WPS 機能の有効／無効を切り替えや、WPS 接続をすることができます。	63 ページ

※1 WPSを有効にしている場合には、WEP/TKIPを使用できません。
使用したい場合はWPSを無効にしてください。

■メインSSID

タブを切り替えることで設定する帯域を切り替えることができます。

入力された文字がそのまま表示されます。　入力された文字が●で表示されます。

項目	内容
Wi-Fi（無線 LAN）を有効にする	設定している帯域のメイン SSID を有効にするか無効にするか設定します。
SSID	SSID 名を設定します。
認証方式	認証方式を設定します。 **WPA Pre-Shared Key（推奨）**：通常はこちらを選択します。 **WEP**※1：WEP にしか対応していない機器の場合、選択します。 **なし**：通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。

※1 WPS を有効にしている場合には、WEP/TKIP を使用できません。
使用したい場合は WPS を無効にしてください。

認証方式に「WPA Pre-Shared Key」を選択した場合

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>暗号化</td><td>ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。
<table>
<tr><td>WPA2 AES
(推奨)</td><td>WPA2-PSK のうち暗号化形式に「AES」を使用します。</td></tr>
<tr><td>WPA TKIP※1</td><td>WPA-PSK のうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。</td></tr>
<tr><td>WPA Mixed</td><td>無線子機に WPA-PSK(「AES」または「TKIP」)と WPA2-PSK が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。
また、無線子機がすべて「WPA2-PSK(TKIP)」の場合も、こちらを選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>キーの種類</td><td>暗号化キーの入力形式を選択します。
<table>
<tr><td>パスフレーズ (8 ～ 63 文字)</td><td>半角英数字 (8 ～ 63 文字) が使用できます。</td></tr>
<tr><td>HEX (64)</td><td>16 進数 64 文字(固定) を使用できます。
※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>暗号化キー</td><td>「キーの種類」の形式で暗号キーを入力します。</td></tr>
</table>

認証方式に「WEP※1」を選択した場合

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>キー長</td><td>キー長を選択します。
通常は 128bit を選択してください。</td></tr>
<tr><td>キーフォマット</td><td>暗号化キーの入力形式を選択します。
<table>
<tr><td>ASCII</td><td>半角英数字で指定文字数を入力します。</td></tr>
<tr><td>Hex</td><td>16 進数で指定文字数を入力します。
※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>暗号化キー 1</td><td>「キーフォーマット」で指定した形式で暗号キーを入力します。</td></tr>
</table>

※1 WPS を有効にしている場合には、WEP/TKIP を使用できません。
使用したい場合は WPS を無効にしてください。

詳細設定

項目	内容
チャンネル幅	2.4GHz の帯域の場合は 11n 規格、5GHz の帯域の場合は 11ac 規格でのチャンネル幅を設定します。 ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらないことがあります。 **2.4GHz の場合（初期値：Auto）**：Auto（推奨）／20MHz／40MHz **5GHz の場合（初期値：Auto）**：Auto（推奨）／20MHz／40MHz／80MHz
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Auto または 1 ～ 13ch の中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は 5 チャンネル以上離してください。Auto を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。 （例）1ch/6ch/11ch
ステルス機能	有効にすると、無線 LAN 子機側の管理画面（設定ユーティリティ）などで、本製品の SSID が表示されなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。 （初期設定：無効）
電波出力	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。 （弱／中／強）
ひかり TV モード	ひかり TV をご利用になる場合は「有効」に設定してください。 （初期設定：無効）

■マルチSSID

タブを切り替えることで設定する帯域を切り替えることができます。

項目	内容
Wi-Fi（無線LAN）を有効にする	設定している帯域のマルチSSIDを有効にするか無効にするか設定します。
SSID	SSID名を設定します。
認証方式	認証方式を設定します。 **WPA Pre-Shared Key（推奨）（初期値）**：通常はこちらを選択します。 **WEP**※1：WEPにしか対応していない機器の場合、選択します。 **なし**：通常は「なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。

※1 WPSを有効にしている場合には、WEP/TKIPを使用できません。使用したい場合はWPSを無効にしてください。

認証方式に「WPA Pre-Shared Key」を選択した場合

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>暗号化</td><td>ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。
<table>
<tr><td>WPA2 AES（推奨）</td><td>WPA2-PSK のうち暗号化形式に「AES」を使用します。</td></tr>
<tr><td>WPA TKIP※1</td><td>WPA-PSK のうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。</td></tr>
<tr><td>WPA Mixed</td><td>無線子機に WPA-PSK(「AES」または「TKIP」)と WPA2-PSK が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。
また、無線子機がすべて「WPA2-PSK(TKIP)」の場合も、こちらを選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>キーの種類</td><td>暗号化キーの入力形式を選択します。
<table>
<tr><td>パスフレーズ（8 ～ 63 文字）</td><td>半角英数字（8 ～ 63 文字）が使用できます。</td></tr>
<tr><td>HEX (64)</td><td>16 進数 64 文字(固定) を使用できます。
※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>暗号化キー</td><td>「キーの種類」の形式で暗号キーを入力します。</td></tr>
</table>

認証方式に「WEP※1」を選択した場合

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>キー長</td><td>キー長を選択します。
通常は 128bit を選択してください。</td></tr>
<tr><td>キーフォマット</td><td>暗号化キーの入力形式を選択します。
<table>
<tr><td>ASCII</td><td>半角英数字で指定文字数を入力します。</td></tr>
<tr><td>Hex</td><td>16 進数で指定文字数を入力します。
※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a ～ f を組み合わせた文字列です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>暗号化キー 1</td><td>「キーフォーマット」で指定した形式で暗号キーを入力します。</td></tr>
</table>

※1 WPS を有効にしている場合には、WEP/TKIP を使用できません。
使用したい場合は WPS を無効にしてください。

項目	内容
ステルス機能	有効にすると、無線 LAN 子機側の管理画面（設定ユーティリティ）などで、本製品の SSID が表示されなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。 （初期設定：無効）

■WPS

項目	内容
WPS 機能	WPS 機能の有効／無効を設定します。（初期値：有効）
本製品の PIN コード	本製品の PIN コードが表示されます。
PBC 方式で接続	「実行」をクリックすると、WPS 機能が実行されます。 本製品の本体に装備された「WPS ボタン」と押したときと同じ動作をします。
無線端末の PIN コードで入力	本製品側で無線 LAN 子機の PIN コードに合わせる場合に、無線 LAN 子機側の PIN コードを入力し、「実行」をクリックします。

WAN & LAN（ルーターモード時）

WAN（インターネット）回線やLANの設定ができます。
この項目はルーターモード時のみ設定可能です。

項目	内容	ページ数
WAN	インターネット側の設定をおこないます。	65 ページ
LAN	LAN（ローカルネット）側の設定をおこないます。	71 ページ
DDNS	ダイナミック DNS に関する設定をおこないます。	72 ページ
固定 DHCP 設定	機器に固定 IP アドレスを割り振ります。	74 ページ
QoS	QoS の設定をおこないます。	76 ページ

■WAN

WAN（インターネット）側の設定をおこないます。
「WANアクセスタイプ」でDHCP／PPPoE／固定IPのいずれかを選択するかで、設定画面が異なります。

「DHCP」を選択した場合

項目	内容
ホスト名	ルーターのホスト名を設定することができます。（半角英数字で最大 30 文字）（初期値：本製品の型番が表示されます）
MTU サイズ	MTU ＝ Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値（単位バイト）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1500 バイト）

項目	内容
DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	プロバイダーより自動的に DNS サーバーのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次の DNS サーバーを使用する	プロバイダーから DNS サーバーを使用するように指示があった場合に選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2 個の場合は「DNS1」と「DNS2」にアドレスを入力します。
DNS1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
DNS2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	WAN（インターネット）側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証をおこなうような CATV インターネット接続サービスで使用します。 初期値では、接続中のパソコンの MAC アドレスが表示されています。 「手動追加」を選択すると、手動で MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らないで入力します。 （例：0090fe0123ab） 「コピー」をクリックすると、接続中のパソコンの MAC アドレスが入力されます。
UPnP を有効にする	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。 （初期値：無効）
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN（インターネット）側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。 （初期値：無効）
IPv6 パススルーを有効にする	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 パススルー（ブリッジ）」機能の有効／無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでかまいません。 （初期値：無効）

「固定IP」を選択した場合

項目	内容
固定 IP	プロバイダーから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU サイズ	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値（単位バイト）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値:1500 バイト）
DNS1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
DNS2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。

項目	内容
MAC アドレスコピー	WAN（インターネット）側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証をおこなうような CATV インターネット接続サービスで使用します。 初期値では、接続中のパソコンの MAC アドレスが表示されています。 「手動追加」を選択すると、手動で MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らないで入力します。 （例：0090fe0123ab） 「コピー」をクリックすると、接続中のパソコンの MAC アドレスが入力されます。
UPnP を有効にする	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。 （初期値：無効）
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN（インターネット）側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。 （初期値：無効）
IPv6 パススルーを有効にする	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 パススルー（ブリッジ）」機能の有効／無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでかまいません。 （初期値：無効）

「PPPoE」を選択した場合

項目	内容
ユーザー名	プロバイダーから提供されたユーザー名を入力します。 （最大 57 文字） ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 （例）userID123@elecom.net ユーザー名　プロバイダー識別子
パスワード設定	プロバイダーから提供されたパスワードを入力します。 （最大 57 文字） 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力したパスワードを表示できます。無効の場合は、「・・・・・」で表示されます。（初期値：無効）
MTU サイズ	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値（単位バイト）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454 バイト）

項目	内容
UPnP を有効にする	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。 （初期値：無効）
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN（インターネット）側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。 （初期値：無効）
IPv6 パススルーを有効にする	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 パススルー（ブリッジ）」機能の有効／無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでかまいません。 （初期値：無効）

■LAN

LAN（ローカルネット）側の設定をおこないます。

項目	内容
IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
DHCP 範囲	DHCP サーバーがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 「接続端末の表示」をクリックすると、DHCP で接続中の端末の一覧が表示されます。
DHCP リース時間	DHCP サーバーによりクライアントに割り当てられる IP アドレスのリース時間を設定します。1 分～ 10080 分までの範囲で設定できます。初期値は 480 分です。 指定時間を過ぎると DHCP サーバーより IP アドレスを再取得します。

■DDNS

DDNS（ダイナミックDNS）を利用すると、WAN側が固定IPアドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。
この機能を利用するには、ダイナミックDNSのサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミックDNSはサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

●あらかじめDDNSサービスに登録してください。
DDNSサイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

●DDNSサービスを利用するにあたって
他社DDNSサービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。

・SkyLink DDNSとは、対象のエレコムまたはロジテック製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミックDNSサービスです。SkyLink DDNSへの登録については、下記URLで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。
http://www.clear-net.jp/
・DDNSサービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合があります。更新時期などの詳細はご利用になるDDNSサイトをご覧ください。
・DDNSサービスを使用する場合、本製品のWAN側のIPアドレスにプロバイダーからのグローバルIPが割り当てられている状態でご利用ください。

項目	内容
DDNS	ダイナミック DNS 機能の有効／無効を設定します。 （初期値：無効）
サービスプロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザ名 ID	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントが E メールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

■固定DHCP設定

特定の端末に固定IPアドレスを割り振ります。
通常、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられますが、クライアントのネットワーク機器などの問題で、特定のIPアドレスを割り当てたい場合などに使用します。
クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連づけて登録することができます。
最大20件まで設定できます。

固定DHCPリスト
DHCPを設定した機器の一覧を表示します。

項目	内容
固定 DHCP の有効	この項目をチェックすると、「固定 DHCP リスト」にある内容が有効になります。 チェックしていない場合は、リストに登録されていても IP アドレスは固定されません。

項目	内容
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。 （例：192.168.2.100） ※ DHCP 範囲以外の IP アドレスでも設定可能ですが、割り当て範囲外のため設定は無効となります。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「：」で区切らないで入力します。 （例：0090fe0123ab）
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。 （最大 20 文字）

■QoS

QoSは、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するときに有効です。

● ダウンロード/アップロード帯域設定

項目	内容
QoS	QoS 設定の有効／無効を選択します。（初期値：無効）

項目	内容
ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 （1 ／ 2 ／ 4 ／ 8 ／ 12 ／ 20 ／ 30Mbps） （初期値：30Mbps）
アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 （1 ／ 2 ／ 4 ／ 8 ／ 12 ／ 20 ／ 30Mbps） （初期値：30Mbps）

● 特定通信に関する設定

項目	内容
通信方向	通信方向を選択します。 （ダウンロード／アップロード／両方） （初期値：ダウンロード）
上限／下限	最大帯域（上限）か、最低帯域保証（下限）かの設定をします。 （初期値：下限）
帯域幅	通信で確保する帯域幅を選択します。 （1 ／ 2 ／ 4 ／ 8 ／ 12 ／ 20 ／ 30Mbps） （初期値：1Mbps）
ローカル IP アドレス	この帯域を適用する端末の IP アドレスを入力します。

● QoS 設定リスト

QoS を設定した通信の一覧を表示します。

項目	内容
選択して削除	「選択」にチェックを入れた通信をリストから消去します。
全てを削除	リストの通信設定をすべて消去します。

LAN（アクセスポイントモード時）

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報などを設定します。

項目	内容
アドレスタイプ	「DHCP」または「固定IP」を選択します。 「DHCP」を選択した場合は、以下の項目は自動的に取得しますので、入力できなくなります。
IPアドレス	IPアドレスを設定します。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルゲートウェイ	プロバイダから提供されたデフォルトゲートウェイの値を入力します。
DNS1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。

セキュリティー

アクセスコントロールなどセキュリティーに関する設定ができます。
セキュリティー設定は、ルーターモード時のみ設定できます。

項目	内容	ページ数
アクセスコントロール	登録した MAC アドレスを持つ無線 LAN 子機、または有線クライアントとの通信を拒否できます。第三者の無線 LAN 子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。	80 ページ
ポートフォワーディング	LAN 上にある指定されたコンピューターを WAN（インターネット）側からアクセスできるようにすることができます。	82 ページ
DMZ	指定した端末に WAN（インターネット）側からアクセスできるようになります。	84 ページ

■アクセスコントロール

登録したMACアドレスを持つ無線LAN子機、または有線クライアントとの通信を拒否できます。第三者の無線LAN子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。
最大20件まで設定できます。

項目	内容
アクセスコントロール	アクセスコントロール機能の有効／無効を設定します。 (初期値：無効)
MAC アドレス	本製品への接続を拒否する機器の MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らずに入力します。 (例：0090fe0123ab)

項目	内容
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。(半角英数字で最大 20 文字)

● アクセスコントロール

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。
登録できるクライアント数は最大 20 です。

項目	内容
選択して削除	[選択] をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

■ポートフォワーディング

ポート転送（ポートフォワーディング）機能を設定します。
通常、NAT変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。

重要

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、74 ページの「固定DHCP設定」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。
DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN 側に開放される恐れがあります。

項目	内容
ポートフォワーディング	ポートフォワーディング機能の有効 / 無効を設定します。（初期値：無効）
ローカル IP アドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントの IP アドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。（初期値：両方）
ポート	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

● ポートフォワーディング設定リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択] は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大 20 です。

■DMZ

通常、NAT変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。
DMZ機能を使用すると、指定した端末にWAN側からアクセスできるようになります。
これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。

重要

設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティー設定済みであるか、確認してください。

項目	内容
DMZ	DMZ 機能の有効 / 無効を設定します。（初期値：無効）
DMZ IP アドレス	インターネット（外部）に公開する WAN 側 IP アドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

その他設定

ステータスを確認したり、ログインIDやパスワードの変更、ファームウェアの更新などをおこないます。

項目	内容	ページ数
ステータス	本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。	86 ページ
ログイン ID/パスワード	本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にログインするための、ログイン ID 名とパスワードを設定 / 変更します。	87 ページ
ファームウェア更新	本製品の機能を最新の状態にします。	88 ページ
設定保存と復元	本製品の設定情報をファイルとして保存したり、本製品の状態を設定情報を保存した時点に復元することができます。	89 ページ
システムログ	さまざまなログ情報をファイルとしてダウンロードできます。	90 ページ
通信パケット	各インターフェイスの送受信パケットを表示します。	91 ページ
接続確認	ネットワーク上の他機器との接続状態を確認します。	92 ページ

■ステータス

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

タブをクリックすることで表示を切り替えることができます。

■ログインID／パスワード

本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にログインするための、ログインIDとパスワードを設定／変更します。

入力された文字がそのまま表示されます。　入力された文字が●で表示されます。

項目	内容
新ログイン ID	新しく設定するログイン ID を入力します。
新パスワード	新しく設定するパスワードを入力します。
新パスワードの再入力	確認のため、もう一度新しいパスワードを設定します。

重要

● **変更後のログインIDとパスワードを忘れないでください**
変更後のログインIDとパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。その場合、すべての設定が初期化されますので、ログインID、パスワードは忘れないようにしてください。

■ファームウェア更新

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。

項目	内容
更新ファイルの確認	現在のファームウェアが最新バージョンか確認します。 最新の場合は、「現在のファームウェアは、最新版です。」と表示されます。 最新ではない場合は、画面の案内に従ってアップデートをすることができます。
更新方法	**ローカルファイル指定**：ダウンロードしたファームウェアファイルを指定してアップデートをおこないます。 **オンラインバージョンアップ(手動)**：「更新実行」ボタンを選択すると、アップデートがおこなわれます。 **オンラインバージョンアップ(自動)(初期値)**：指定した時間に現在のファームウェアが最新かどうかチェックをし、最新でない場合は、自動的にアップデートをおこないます。 ・曜日は自動的に割り振られますので、設定することはできません（再起動時にランダムな曜日が表示されます）。 ・時間は正時のみ設定できます。

ファームウェアの更新は、104ページを参照しておこなってください。

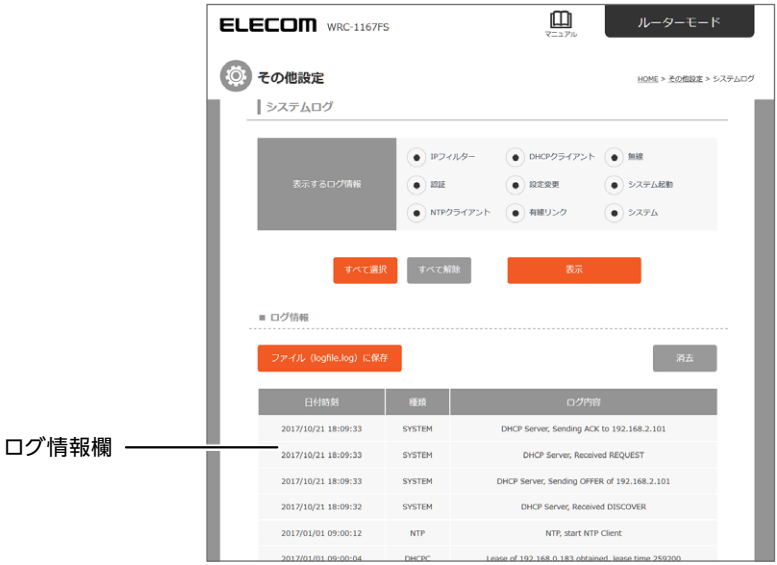
■設定保存と復元

本製品の設定情報をファイルとして保存したり、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。
また、本製品の設定内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

項目	内容
設定を保存	「保存」をクリックすると、「（機種名）config.bin」というファイル名で保存されます。
設定を復元	「設定を保存」で保存したファイルを選択し、「復元」を選択すると、保存した設定が復元されます。 ● 設定が反映されるまでにしばらく時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。 ● 復元が完了すると、設定画面が表示されます。
設定を初期化	「初期化」を選択すると、設定内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻します。 ● 設定が反映されるまでにしばらく時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。

■システムログ

本製品のシステムの履歴をログファイルとしてダウンロードできます。



項目	内容
表示するログ情報	ログファイルに記述したい内容にチェックを入れます。「表示」をクリックすると、ログ情報欄にチェックを入れた内容でログ情報が表示されます。
ログ情報	**ファイル（logfile.log）に保存**：ログ情報欄に表示されている内容でファイルをダウンロードします。 **消去**：ログ情報欄の表示を消去します。

MEMO

ログ情報について

ルーターを再起動または初期化すると、ログ情報は削除されますのでご注意ください。

■通信パケット

本製品の通信状況を表示します。

インターフェイス

項目	内容
LAN 側有線	LAN 側の送受信パケットが表示されます。
インターネット側有線	インターネット側（WAN 側）の送受信パケットが表示されます。
LAN 側無線（802.11n/g/b）	2.4GHz 帯の送受信パケットが表示されます。
LAN 側無線（802.11ac/n/a）	5GHz 帯の送受信パケットが表示されます。

項目	内容
現在の状態を表示	最新の情報に表示を更新します。

■接続確認

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認をおこなうことができます。

項目	内容
宛先アドレス	接続確認をしたい機器のアドレスを入力します。 「実行」を選択すると、接続確認をおこないます。
実行結果	ping の実行結果が表示されます。

こんなときは

インターネットにつながらない **94**

無線LANがつながらない **95**

端末からWPSで本製品に接続できない **96**

WPSボタンを使っても接続できない 96

PINコードで接続できない 96

無線のつながりがよくない **97**

IPv6パススルー(ブリッジ)機能を有効にする **101**

ファームウェアを更新する **104**

ファームウェア設定画面を開く 105

ダウンロードしたファイル(ローカルファイル)を指定して更新する 107

サーバー上のファイルを使って更新する 110

決められた時間に自動的に更新する 112

インターネットにつながらない

以下のことを試してください。

① ルーターを再起動する。

本製品からACプラグをいったん抜いた後、再度差し直します。

② ルーターを初期化/再設定する。

本製品底面のリセットボタンを先の細いもので押し続けます（付属「製品情報」を参照）。

初期化後は、付属のかんたんセットアップガイドを参照して再設定を行ってください。

また、必要に応じて初期化する前に設定を保存してください（→89ページ）。

③ 以下を確認する。

- **TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認する。**
  〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。
- **DHCPサーバー機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り当てる。**
  TCP/IPのプロパティにある＜IPアドレス＞タブで設定します。
- **TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認する。**
  プロバイダーによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。
  プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。
  CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。
- **プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認する。**
  IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

無線LANがつながらない

① 本製品のセキュリティー設定やアクセスポイントのアクセスコントロール設定は正しいですか？

セキュリティー設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、アクセスコントロールを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

(→アクセスコントロール設定 80ページ)

② Wi-Fiのセキュリティー機能を設定後に無線LANがつながらない。

- セキュリティー設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。
- 各セキュリティー機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。
  セキュリティー設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。
- 設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

端末からWPSで本製品に接続できない

WPSボタンを使っても接続できない

WPSボタンを使って無線LAN接続するときは、無線LAN子機がWPSに対応している必要があります。
無線LAN子機がWPSに対応していない場合は、手動での接続方法を試してみてください。
(→28ページ)

PINコードで接続できない

入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを確認して接続してください。

繰り返し接続に失敗するようであれば、手動での接続方法を試してみてください。
(→28ページ)

無線のつながりがよくない

ご近所などでたくさんの無線機器が使われている場合、電波干渉して通信が安定しない場合があります。
本製品と無線子機の間を接続している無線チャンネルを変更すると、安定する場合があります。
無線チャンネルは、以下の手順で変更してください。

1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。

http://192.168.2.1/

ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

2 設定画面のHOME画面が表示されますので、現在のチャンネル数を確認した後、「Wi-Fi」を選択します。

チャンネル数を確認します

3 「Wi-Fi」画面が表示されますので、
「メインSSID」を選択します。

4 「メインSSID」画面が表示されますので、
チャンネルを変えたい帯域のタブを選び、「詳細設定」の「+」マークを選択します。

5 詳細メニューが表示されますので、「チャンネルの再選出」を選択、または「チャンネル」を任意の数字に設定(固定)します。

チャンネルの再選出をする場合

「チャンネルの再選出」を選択すると、本製品が再起動します。

チャンネルを任意の数字に設定する場合

任意の数字を選択して「適用」ボタンを押してください。本製品が再起動します。

MEMO

- **チャンネルは、各帯域（2.4GHz/5GHz）それぞれに設定することができます。**
- **2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、隣接する無線機器と干渉しないよう、4チャンネル以上間隔をあけて設定してください。**

例）1→6→11→13など、4チャンネル以上を離して、いくつかの無線チャンネルを試し、最も無線接続が安定するチャンネルを見つけてご利用ください。

6 設定が反映されるまでしばらく待ちます。

7 設定が反映されると「Wi-Fi」画面に戻りますので、HOME画面に戻り、チャンネルが変更されていることを確認します。

チャンネルがここに表示されます。

8 つながりが良くなっているか確認します。

チャンネルを変更しても、状況が改善されない場合があります。
その場合は、何度か1～7の手順を繰り返して試してください。

IPv6パススルー(ブリッジ)機能を有効にする

IPv6サービスをご使用になる場合は、以下の手順で「IPv6パススルー(ブリッジ)」を有効にする必要があります。
IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでかまいません。
(初期値:無効)

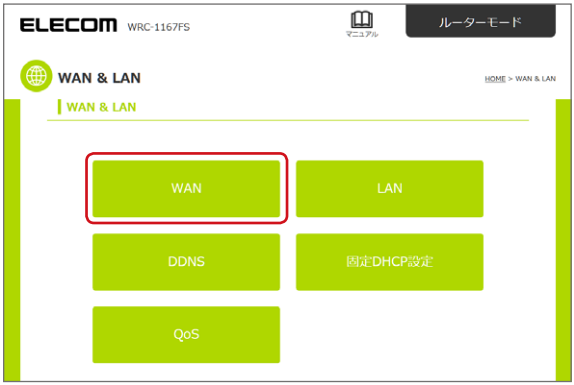
1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。

http://192.168.2.1/

ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

2 設定画面のHOME画面が表示されますので、「WAN&LAN」を選択します。

3 「WAN＆LAN」画面が表示されますので、
「WAN」を選択します。



4 「WAN」画面が表示されますので、
「IPv6 パススルーを有効にする」にチェックを入れ、「適用」をクリックします。

5 **設定が反映されるまでしばらく待ちます。**

6 設定が反映されると「WAN」画面に戻りますので、
IPv6サービスが利用できるか確認します。

ファームウェアを更新する

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。
ファームウェアを更新（アップデート）することで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。
ファームウェアの更新（アップデート）の方法は３種類あります。

ローカルファイル指定	ダウンロードしたファームウェアファイルを指定してアップデートをおこないます。 → 107 ページ「ダウンロードしたファイル（ローカルファイル）を指定して更新する」
オンラインバージョンアップ（手動）	「更新実行」ボタンを選択すると、エレコム・ファームウェアサーバー上のファイルでアップデートがおこなわれます。 → 110 ページ「サーバー上のファイルを使って更新する」
オンラインバージョンアップ（自動）（初期値）	指定した日時に現在のファームウェアが最新かどうかチェックし、最新でない場合は、自動的にアップデートがおこなわれます。 → 112 ページ「決められた時間に自動的に更新する」

MEMO

通信環境が悪い場合は、「ローカルファイル指定」で更新することをおすすめします。

ファームウェア設定画面を開く

1 本機に接続しているモバイル機器やPCのブラウザを開き、以下のページを開きます。

http://192.168.2.1/

ログインID/パスワードを設定する画面が表示された場合は、それぞれ任意の値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

2 設定画面のHOME画面が表示されますので、「その他設定」を選択します。

3 「その他設定」画面が表示されますので、「ファームウェア更新」を選択します。

「ファームウェア更新」画面が表示されます。

ダウンロードしたファイル（ローカルファイル）を指定して更新する

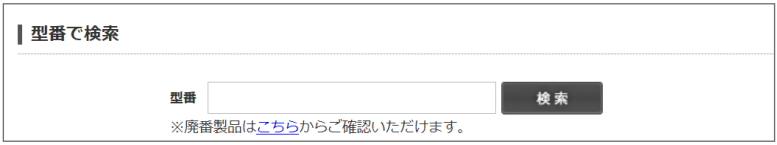
1 パソコンと本製品をLANケーブルで接続します。

2 Webブラウザーを起動し、エレコムWebサイト「http://www.elecom.co.jp/」に接続します。

3 エレコムWebサイトのメニューから「ダウンロード」をクリックします。

4 「型番で検索」で型番を入力し、[検索]をクリックします。

例）WRC-1167FS



5 本製品向けにダウンロードが可能な内容が表示されますので、

「WRC-xxx（型番）用ファームウェア」をクリックします。

6 画面の説明に従ってダウンロードを開始します。

- ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
- ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。

7 「ファームウェア更新」画面で、「ローカルファイル指定」にチェックを入れます。

「ファームウェア更新」画面の表示方法は、105ページをご参照ください。

「ローカルファイル指定」のメニューが表示されます。

8 「ファイルを選択」を選択し、6 でダウンロードしたファイルを選び、「適用」を選択します。

9 ファームウェアの更新が開始されるので、しばらく待ちます。

重要

ファームウェア更新中は、絶対に本体の電源を切らないでください。
本製品が故障する場合があります。

更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示され、新しいファームウェアで動作します。

「現在のファームウェアバージョン」の数値が最新のバージョンであれば更新されています。

サーバー上のファイルを使って更新する

エレコム・ファームウェアサーバー上のファイルを使って更新します。

1 「ファームウェア更新」画面で、「オンラインバージョンアップ(手動)」にチェックを入れます。

「ファームウェア更新」画面の表示方法は、105ページをご参照ください。

オンラインバージョンアップ(手動)メニューが表示されます。

2 「更新実行」を選択します。

3 確認ダイアログボックスが表示されるので、「OK」を選択します。

ファームウェアの更新が開始されます。

重要

ファームウェア更新中は、絶対に本体の電源を切らないでください。
本製品が故障する場合があります。

更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示され、新しいファームウェアで動作します。

決められた時間に自動的に更新する

エレコム・ファームウェアサーバーに最新のファイルがある場合は、週1回指定した時間に自動的にアップデートします。（ご購入時はこの設定になっています）

1 「ファームウェア更新」画面で、「オンラインバージョンアップ（自動）」にチェックを入れます。

「ファームウェア更新」画面の表示方法は、105ページをご参照ください。

オンラインバージョンアップ（自動）メニューが表示されます。

2 「更新時刻」を設定し、「適用」を選択します。

3 設定が反映されるまでしばらく待ちます。

設定が反映されると設定画面に戻ります。

付録編

安全上のご注意 **115**

使用上のご注意 **118**

このマニュアルについて **119**

無線LANをご使用になるにあたってのご注意 **120**

動作環境 **121**

各部の名称とはたらき **122**

本体 122

スタンド 122

設定初期値 **125**

パソコンのIPアドレスの確認方法 **127**

Windows 10の場合 128

Windows 7の場合 129

製品の保証について **131**

製品の保証とサービス 131

サポートサービスについて **132**

基本仕様 **133**

無線LAN部 133

WAN／有線LAN 134

ルーター、その他一般仕様 134

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

警告	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。**
注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。**

	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中は行なわなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

警告

本体から異臭や煙が出たときは、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると、感電・火災の恐れがあります。
使用を中止して販売店にご相談ください。

分解はしないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

本体内部に異物を入れないでください。
金属を差し込んだり、水などの液体が入らないよう注意してください。感電、火災、故障の原因となります。万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。
感電、火災、故障の原因となります。

製品に同梱されているACアダプターまたは電源プラグは他の電子機器に使用しないでください。
仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。

以下に該当するACアダプターや電源ケーブル、信号ケーブルを本製品に使わない。
・付属以外のもの
・弊社が指定する仕様、型番以外のもの
仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。

水気の多い場所での使用、濡れた手でのお取り扱いはおやめください。
感電・火災の原因となります。

表示された電源で使用してください。
ACアダプターまたは電源プラグは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。

ACアダプターまたは電源コードはていねいに扱ってください。
ACアダプターまたは電源コードは破損しないよう十分にご注意ください。
コード部分を持ってコンセントを抜き差ししたり、コードの上に物を載せると、被覆が破れて感電・火災の原因となります。

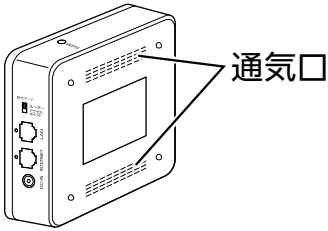
ACアダプターまたは電源コードは、定格容量を超えてタコ足配線したり、何本もの延長したテーブルタップに接続して使用しないでください。
火災の原因となります。なるべくコンセントに直接接続してください。

ACアダプターまたは電源コードのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。
束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。

心臓ペースメーカーを使用している人の近く、または医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムを使用しない。
心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

注意

通気口はふさがないでください。
過熱による火災・故障の原因となります。



使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 屋外で使用しないでください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や震動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があると、ノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

■ 2.4GHz帯使用の無線機器について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

■ 5GHz帯使用の無線機器について

電波法により、W52、W53は屋外の使用が禁止されています。

36 ～ 64chは、屋外で使用しないでください。

動作環境

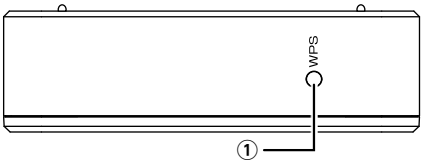
ルーター機能については、TCP/IPプロトコルを利用できるOSであれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。
また、Webベースの管理画面(設定ユーティリティ)を採用しています。本製品の設定にはWebブラウザーより設定ができます。

対応機種 および OS	Windows 10/10S/8.1/7 (SP1 以降) /Vista (SP1 以降)、 macOS 10.13/10.12、 Mac OS X 10.11/10.10/10.9/10.8/10.7、 Android 4.0 以降、 iOS 7.0 以降
Web ブラウザー	Internet Explorer 5.5 以降、Safari 6.0.3 以降

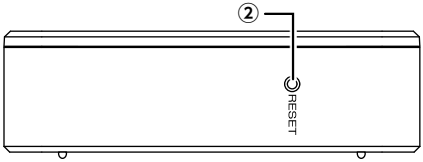
各部の名称とはたらき

本体

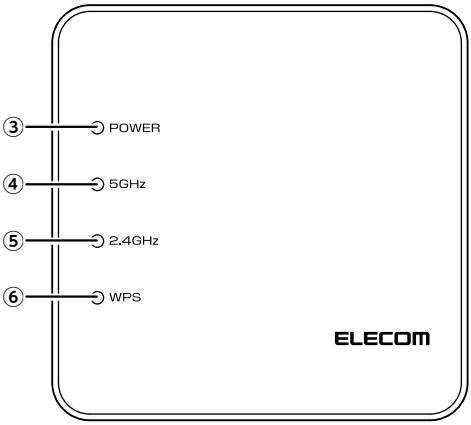
天面



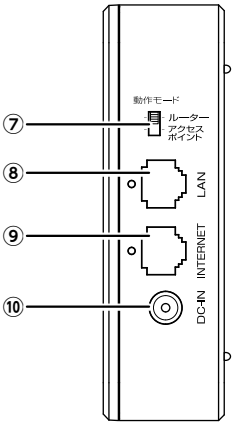
底面



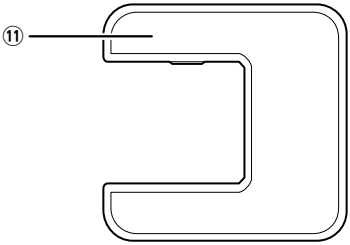
正面



背面



スタンド



①	**WPS ボタン**	WPS 機能搭載の無線子機（無線 LAN アダプターなど）と接続するときに使用します。 このボタンを 2 ～ 3 秒長押しすると、WPS ランプが赤点滅し、WPS 機能が実行状態になります。
②	**RESET ボタン**	このボタンを押し続けると POWER ランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。POWER ランプが点滅を始めるまで約 7 ～ 10 秒かかります。POWER ランプ点滅中は、電源を絶対に切らないでください。
③	**POWER ランプ**	**緑点灯：** 本製品の電源が入った状態です。 **緑点滅：** 本製品が起動中であるか、初期化を行っています。電源を切らないでください。 **消灯：** 本製品の電源が切れた状態です。
④	**5GHz ランプ**	**緑点灯：** 無線 LAN が有効な状態です。 **緑点滅：** 無線 LAN が通信中です。 **消灯：** 無線 LAN が無効な状態です。
⑤	**2.4GHz ランプ**	
⑥	**WPS ランプ**	**赤点滅：** WPS 設定ボタンを押して WPS 機能を実行している状態です。約 2 分間点滅します。 **消灯：** WPS 機能を実行していない状態です。
⑦	**動作モード切替スイッチ**	本製品の動作モードを選択するスイッチです。ルーターモード / アクセスポイントモードの選択できます。初期値は「ルーターモード」です。動作モードを切り替えるときは、必ず本製品の電源を切った状態でスイッチを変更してください。
⑧	**LAN ポート /LAN ランプ**	パソコンやネットワーク機器を、有線 LAN で本製品に接続するためのポートです。 各ポートの横には、LED ランプが付いています。 **緑点灯：** 有線 LAN 接続のパソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 **緑点滅：** データ転送中です。 **消灯：** ケーブルが未接続の状態です。
⑨	**INTERNET ポート /INTERNET ランプ**	各種モデム（ONU、CTU、HGW など）の WAN（インターネット）側機器からのケーブルを接続します。ポートの横には、LED ランプがついています。 **緑点灯：** WAN 側機器とのリンクが確立しています。 **緑点滅：** データ転送中です。 **消灯：** ケーブルが未接続の状態です。

⑩	**DC IN(電源ジャック)**	本製品に付属の AC アダプターを接続します。本製品に付属以外の AC アダプターを接続しないようにしてください。また、本製品付属の AC アダプターは他の製品に使用しないでください。
⑪	**スタンド**	本製品はタテ置き、ヨコ置きいずれにも対応します。タテ置きで利用する場合は、本体にスタンドを装着してください。

設定初期値

機能名		出荷時設定	設定値
友だち Wi-Fi		OFF（無効）	SSID：e-tomo-xxxxxx （英数字 6 ケタ） 認証方式：WPA Pre-Shared Key キー：パスフレーズ 暗号化キー:管理画面（設定ユーティリティ）で確認できます。
Wi-Fi			
2.4GHz メイン SSID	SSID	有効	elecom2g-xxxxxx （英数字 6 ケタ）
	認証方式	WPA Pre-Shared Key	WPA Pre-Shared Key ／ WEP／なし
	暗号化	WPA2 AES	WPA2 AES ／ WPA TKIP ／ WPA Mixed
	キーの種類	パスフレーズ	パスフレーズ／ HEX
	無線チャンネル	Auto	1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 ／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 ／ 10 ／ 11 ／ 12 ／ 13ch
	チャンネル幅	Auto	20MHz ／ 40MHz
	ステルス機能	無効	有効／無効
	電波出力	強	弱／中／強
	ひかり TV モード	無効	有効／無効
5GHz メイン SSID	SSID	有効	elecom5g-xxxxxx （英数字 6 ケタ）
	認証方式	WPA Pre-Shared Key	WPA Pre-Shared Key ／ WEP／なし
	暗号化	WPA2 AES	WPA2 AES ／ WPA TKIP ／ WPA Mixed
	キーの種類	パスフレーズ	パスフレーズ／ HEX
	無線チャンネル	Auto	36 ／ 40 ／ 44 ／ 48 ／ 52 ／ 56 ／ 60 ／ 64 ／ 100 ／ 104 ／ 108 ／ 112 ／ 116 ／ 120 ／ 124 ／ 128 ／ 132 ／ 136 ／ 140
	チャンネル幅	Auto	20MHz ／ 40MHz ／ 80MHz
	ステルス機能	無効	有効／無効
	電波出力	強	低／中／強
	ひかり TV モード	無効	有効／無効

機能名		出荷時設定	設定値
WAN & LAN			
WAN	WAN アクセスタイプ	DHCP	DHCP／PPPoE／固定 IP
	MTU	1500 バイト (1400 ～ 1500 バイト)	DHCP:1400 ～ 1500 バイト PPPoE：1360 ～ 1454 バイト 固定 IP：1400 ～ 1500 バイト
	UP n P	無効	有効／無効
	WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	無効	有効／無効
	IPv6 パススルー	無効	有効／無効
LAN	IP アドレス	192.168.2.1	
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	DHCP 範囲	192.168.2.100 ～ 200	
	DHCP リース時間	48（時間）	1 ～ 168 時間
DDNS	DDNS	無効	有効／無効
固定 DHCP	固定 DHCP	無効	有効（最大 20 台まで）／無効
QoS	QoS	無効	有効／無効
	ダウンロード帯域幅	30Mbps	1 ～ 30Mbps
	アップロード帯域幅	30Mbps	1 ～ 30Mbps
	通信方向	ダウンロード	ダウンロード／アップロード／両方
	上限／下限	下限	上限／下限
	帯域幅	1Mbps	1／2／4／8／12／20／30Mbps
セキュリティー			
アクセスコントロール		無効	有効（最大 20 台まで）／無効
ポートフォワーディング		無効	有効（最大 20 台まで）／無効
DMZ		無効	有効／無効

パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の管理画面（設定ユーティリティ）にアクセスできない場合に、本製品の管理画面（設定ユーティリティ）に接続するパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線LAN子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

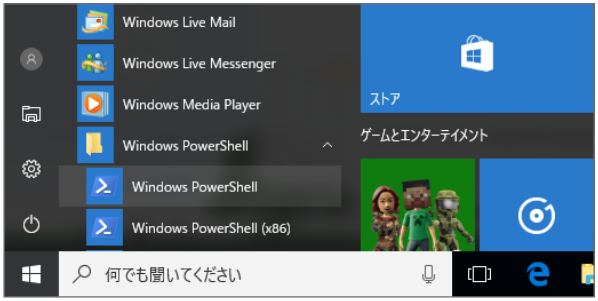
本製品から正常にIPアドレスが割り当てられているとき

本製品に接続されているパソコンのネットワーク設定は以下になっています。

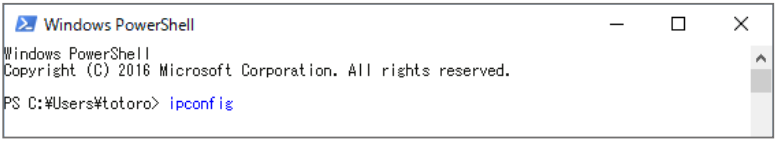
IP アドレス	192.168.2.xxx 「xxx」は任意の数字（初期値：100 ～ 200 のいずれか）です。
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.2.1

Windows 10の場合

1 **[スタート]→[Windows Powershell]をクリックします。**



2 「Windows Powershell」画面が表示されますので、**「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。**



MEMO

- 入力する文字は半角英数字です。
- 「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

ネットワーク接続情報が表示されます。

```
イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . . .: Realtek
   リンクローカル IPv6 アドレス. . . . .: fe80::b96c:a23f:e809:d0a7%18
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . . .: 192.168.2.103
   サブネット マスク . . . . . . . . . .: 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . . .: 192.168.2.1

Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . . .: Realtek
   リンクローカル IPv6 アドレス. . . . .: fe80::102:f940:c919:58b3%17
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . . .: 192.168.2.104
   サブネット マスク . . . . . . . . . .: 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . . .: 192.168.2.1
```

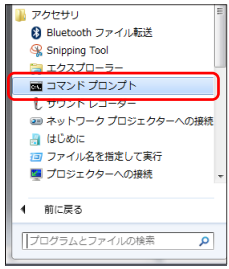
有線LAN

無線LAN

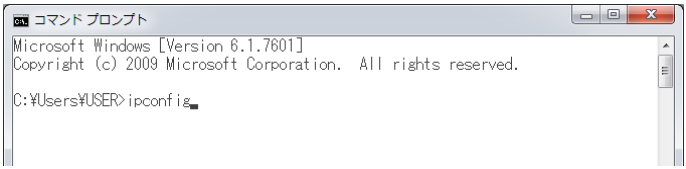
有線LAN接続は「イーサネット アダプターローカル エリア接続」、無線LAN接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

Windows 7の場合

1 **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンド プロンプト]の順にクリックします。**



2 「コマンドプロンプト」画面が表示されますので、**「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。**



MEMO

- 入力する文字は半角英数字です。
- 「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

ネットワーク接続情報が表示されます。

```
イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . . .: Realtek
   リンクローカル IPv6 アドレス. . . . .: fe80::b96c:a23f:e809:d0a7%18
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . . .: 192.168.2.103
   サブネット マスク . . . . . . . . . .: 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . . .: 192.168.2.1

Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . . .: Realtek
   リンクローカル IPv6 アドレス. . . . .: fe80::102:f940:c919:58b3%17
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . . .: 192.168.2.104
   サブネット マスク . . . . . . . . . .: 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . . .: 192.168.2.1
```

有線LAN

無線LAN

有線LAN接続は「イーサネット アダプターローカル エリア接続」、無線LAN接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より1年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

● 保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、製品情報に記載の保証規定をご確認ください。

● その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

豊富なQ&Aやチャットサポート、画面で見る設定手順、マニュアルなどをWebでご案内しています。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…
サポートポータルサイト「えれさぽ」へ

http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/033.html

エレコム・ネットワークサポート（ナビダイヤル）
TEL:0570-050-060

受付時間：10:00 ～ 19:00（年中無休）

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- 弊社製品の型番
- インターネットに関するプロバイダー契約の書類
- ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。
エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。
This product is designed for use in japan only.
A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

基本仕様

無線LAN部

機種	WRC-1167FS-B/WRC-1167FS-W
規格	IEEE802.11ac (5G 帯) IEEE802.11n (2.4G/5G 帯) IEEE802.11g (2.4G 帯) IEEE802.11 b (2.4G 帯) IEEE802.11a (5G 帯)
周波数帯域	2.4GHz 帯：2,400 ～2,484MHz 5.2GHz 帯 (W52)：5,150 ～ 5,250MHz 5.3GHz 帯 (W53)：5,250 ～ 5,350MHz 5.6GHz 帯 (W56)：5,470 ～ 5,725MHz
チャンネル	2.4GHz 帯：1 ～ 13ch 5GHz 帯 (W52/W53/W56)：36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch
伝送方式	IEEE802.11ac：MIMO-OFDM IEEE802.11n：MIMO-OFDM IEEE802.11g：OFDM IEEE802.11b：DS-SS IEEE802.11a：OFDM
データ転送速度 (無線)	IEEE802.11ac：最大 867Mbps IEEE802.11n：最大 300Mbps IEEE802.11g：最大 54Mbps IEEE802.11b：最大 11Mbps IEEE802.11a：最大 54Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー
アンテナ方式 (5GHz 帯)	2 本 (送受信× 2)
アンテナ方式 (2.4GHz 帯)	2 本 (送受信× 2)
セキュリティー	WPA2- PSK(AES)、WPA- PSK(TKI P)、WEP(64bit/128bit)、SSID ステルス設定 セパレーター機能:プライバシーセパレーター / SSID セパレーター対応 (ゲスト SSID に対して機能)
設定方式	WPS 対応・かんたんセットアップ 3
ビームフォーミング	対応 (常時有効)

WAN ／有線 LAN

機種	WRC-1167FS-B/WRC-1167FS-W
規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T)
データ伝送速度（有線）	INTERNET：100Mbps/10Mbps LAN：100Mbps/10Mbps
コネクター	INTERNET：RJ-45 × 1 ポート、 LAN：RJ-45 × 1 ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルーター、その他一般仕様

機種	WRC-1167FS-B/WRC-1167FS-W
LAN 側 IP アドレス	192.168.2.1
ルーティング 対応プロトコル	TCP/IP (IPv4)
インターネット （WAN）接続方式	PPPoE 認証接続 (1 セッション)、IP アドレス自動取得接続、 IP アドレス固定接続
LAN 接続方式設定	IP アドレス自動取得接続、IP アドレス固定接続
セキュリティー	アクセスコントロール (禁止のみ)
ローカルサーバー 機能	ポートフォワーディング、DMZ
ダイナミック DNS (DDNS)	SkyLinkDDNS (エレコム提供 DDNS サービス)、 DynDNS
動作環境	温度：0 ～ 40℃、湿度：10 ～ 85% (ただし結露なきこと)
消費電力 (最大)	約 4.4W
外形寸法	約 110.0 × 約 32.0 × 約 110.0mm (本体のみ)
質量 (本体のみ)	約 150g (本体のみ)

ELECOM

無線LANブロードバンドルーター
WRC-1167FSシリーズ ユーザーズマニュアル

発行　エレコム株式会社

©ELECOM CO.,LTD.　2017　All Rights Reserved.